



プロジェクト名称

よねさきの丘プロジェクト

プロジェクト活動概要

東日本大震災、その後の大々的な工事によって岩手県陸前高田市の風景は一変しました。住んでいた町がなくなり、まったく違う町が出来上がろうとしています。その変化が住人にもたらす影響は計り知れません。そうした街の中に、かつての風景が残る丘陵地があります。その丘「よねさきの丘」を、地域住人の方々や復興のために訪れたボランティアが集い、語り合えるような場所に計画することが私たちの活動の目的です。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果/その進歩

ある施設が有効に利用されるためには・利用者が利用しやすい場所にあり・その用途に適した形で存在することに加えて・その存在を周辺の人が周知していることが条件であると考えます。私たちはその一項目である「ふさわしい建物」に関して学んできましたが、本プロジェクトにおいてはその領域をはみ出して・アクセスの確保・建設・認知それぞれにアクションを起こそうと考えました。そこで、

- ①当該敷地への新規アクセス路となる**産業路の整備**
- ②産業路整備によって生じた伐木材による**東屋の建設**
- ③**ワークショップの実施**による地域住人への認知を活動内容としました。

①当該敷地への新規アクセス路となる産業路の整備

よねさきの丘は、新規住宅地や仮設住宅地に近い場所にありながら林に囲まれてアクセスしづらい状況でした。これを切り開いてから、丘の上にいっしょの方が増えました。

②産業路整備によって生じた伐木材による東屋の建設

聞き取り等からコンセプトを決定し、設計図を書き、現在は工事の最終段階にきています。憩う場所としての東屋が完成することで、私たちの考えるよねさきの丘が出来上がると考えています。

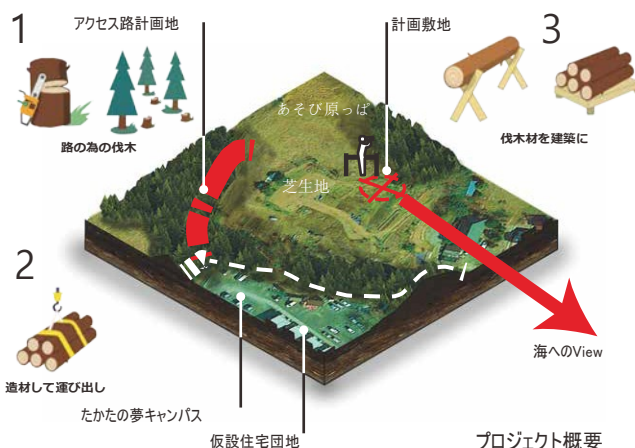
③ワークショップの実施による地域住人への認知

バーベキュー、地元のお祭りの一環としてのイベントとして、私たちは様々な年齢層の方とコミュニケーションをとることができました。私たちの存在、活動内容を理解していただくとともに、今地域住人に求められているものはどのような場所なのかを解釈して、東屋のデザインに活かすことができました。

1年間の成果まとめ、今後の活動計画など

アクセスを獲得し、ワークショップを行うことで、「この場所で変化が起こる」ということを地域の方々に理解していただけたと思っています。建設も最終段階に至り、地域のメディアに取り上げていただいている状態なので、今後の活動としては春に東屋を完成させ、地域の交流を育む場所を作るという、当初の目的を達成したいです。

活動を通して、私たちの学習してきたことが、実際に建設にあたって何がうまくいったか、何が足りなかったか、具体物となるとわかる部分が多く発見できたことは、私たちにとって大きな成果であったと感じています。



プロジェクト概要



ワークショップの実施による地域住人への認知

当該敷地への新規アクセス路となる産業路の整備

産業路整備によって生じた伐木材による東屋の建設



2018年3月
東屋の上棟



上棟した東屋



柱頭の詳細

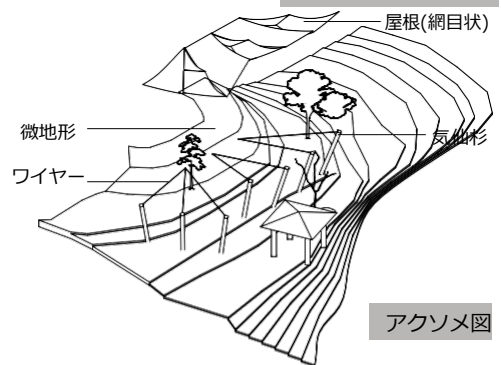


柱の間から街を見下ろす

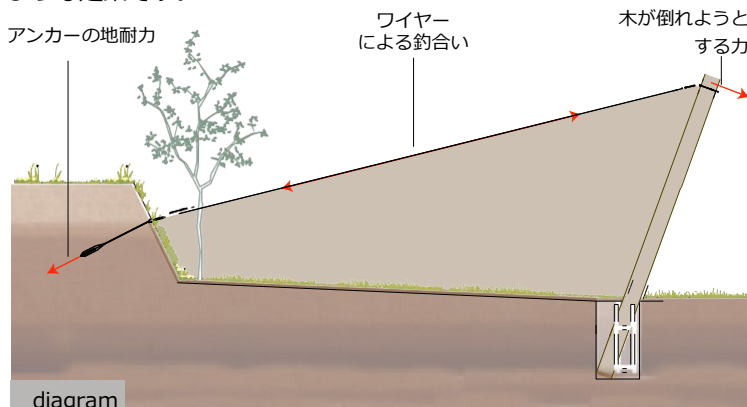


工事前の計画地

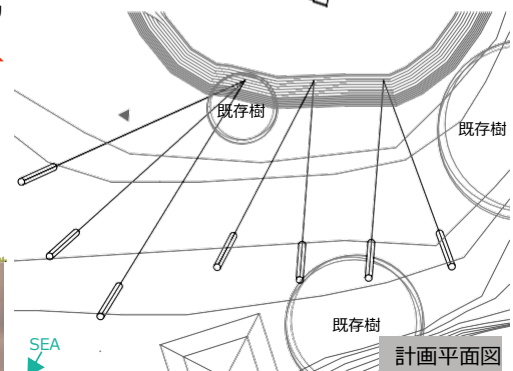
この地のアイデンティティが消失しつつあります。
この「場所」に由来するサイトスペシフィックな建築を考えました。
震災後も変わらず存在する丘陵地の「地面」と、そこで育った「杉」
で構成される、変わらない「海」と復興に向けて変わっていく「街」
を眺望する形態。80万円という限られたコストと、素人でも施工で
できることが条件となる中で考えた工法は、木と地面を結わうことで
できる「引っ張り合い」で空間を構成しています。
計画した東屋は、この「場所」を構成するもので造られる「風景」の
ような建築です。



アクソメ図



diagram



計画平面図



活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017年 11月 1 日 ~ 2018年 3月 31 日

2017年11~12月

設計案の検討

模型や図面により設計案を検討していく。使用する材の寸法の検討や構造、工法も同時に考えながら様々な可能性をまとめていった。



2018年3月

現地での東屋の施工滞在

<p>柱</p> <p>柱となる気仙杉の 研磨 柱頭・柱脚の加工</p>	<p>杉の研磨</p>	<p>ドリルによる穴あけ</p>	<p>金具の設置</p>
<p>基礎</p> <p>単管パイプを用いた 柱脚の仮基礎の作成</p>	<p>単管パイプの切り出し</p>	<p>組み立て</p>	<p>基礎ユニット</p>
<p>土工事</p> <p>柱を固定させるための 準備を重機や アンカーを用いて行う</p>	<p>重機による掘削</p>	<p>アンカーの設置</p>	
<p>躯体立ち上げ</p> <p>柱の立ち上げ 1本ずつ人力で 立ち上げていく</p>	<p>柱を支えるワイヤーの固定</p>	<p>立ち上げ段階</p>	